

東与賀 Higashiyoka

文責 田中泰司

佐賀市立東与賀中学校

咲誇る桜に迎えられ
令和8年度がスタート
しました！

週末に満開の花を咲かせていた桜も、その後天候が少し崩れ、すっかり散ってしまうかに思われましたが生徒たちを出迎えるためでしょうか、始業式の朝には残りの花がきれいに咲き誇っていました。

三年前、教頭として勤務していたこの東与賀中学校に帰ってきて校長として新しい年度をスタートできた喜びを、今ひしひしと感じています。みんなが安心して伸びやかに過ごせ、成長し続ける学校を生徒たちと共に創っていききたいという思いを新たにしました。これから一年間、職員一同ひとつになつて全力で頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願います。

転出入職員の紹介

令和8年度の定期人事異動により、転出入した職員を紹介いたします。

*** **

「転出」

※個人情報につき未記載です

転出された先生方におかれましては長年、東与賀中のために力を尽くされ心より感謝申し上げます。新天地でのご活躍をお祈りいたします。

「転入」

※個人情報につき未記載です

新しく赴任した職員は全部で一四名です。新たな風を吹かせてくれると期待しています。皆さんこれから一年間、どうぞよろしくお願いたします。

*** **

始業式で話しました

赴任式での温かい言葉への感謝と、これから生徒たちに大事にしてほしいことを話しました。以下に記します。

さて、充実した1年間にするために、皆さんに大事にしてほしいことがあります。それは「知る」ということです。他者との良い関係を作るために、自分と人は「違う」ということを「知り」、理解することがスタートとなります。

これから皆さんが生きていく中で、一番必要となる力は、自分と異なる価値観や考えを持つ人と協力できる関係を築く力です。折り合いをつけるとも言えます。自分と異なる意見や考えを聞き、受け止め、そして納得できるまで話し、最初の考えをみなおして、「受入れる」「変える」「深める」ことは自分自身の成長につながります。

自分と人とは「違う」という当たり前のことからスタートし、いろいろな関りをもちながら、相手のことをより深く「知って」ください。

また「知る」という言葉は「気づく」「理解する」「分かる」というふうには、様々な段階を持つ多義語であり、その意味の通り粘り強く「知ろう」「理解しよう」「分かる」とすることがとても大事なことです。

そして、より深く「知る」ためには想像力を働かせることがカギになります。想像力は人間にしか備わっていない力です。

私は十三年前に突発性難聴という病気になる、左耳の聴力のほとんどを失いました。これまで、話しかけたのに無視された、とか話を聞いていないと決めつけられたことがありません。事実だけみれば、そう捉えるのも無理ないでしょう。ですが、少し想像力を働かせて、少し粘っても一度呼びかけてもらえたら、違う印象になつていたかもしれせん。

皆さんは、自分の思っていたことと違う反応を相手が出したときに、同じように判断していませんか？もしかしらそうじゃないかも？と立ち止まり、想像力を働かせて決めつけないことも大事な事です。私は、新しい学校に行くとき「私は左耳が聞こえないので、右側から話しかけてください」とお願いしました。どんな状況かを伝え、自分を「知ってもらおう」事も必要だと思っております。

対話を通して「知ろう」とすること「知ってもらおう」とすること。お互いに「違う」がスタートです。授業や行事、部活動や社会体育、習い事など多くの場面で人と関わり、いろんなことを知ろうとしてみてください。自分以外の他者の存在が自分の成長につながることを意識して、大切にしてください。自分を大事にし、知ることによって成長し、自分と違う他者を尊重すること、自ら考え行動できる人間に成長できると信じています。私も皆さんのことを知りたいと思っております。今日が始まりです。一緒に頑張ります。